

平成26年度

事業報告書

公益財団法人埼玉県健康づくり事業団

平成26年度事業報告

- 平成26年度の各種健(検)診・検査事業及び作業環境測定事業の受託状況は、自治体において価格重視の入札・見積合わせによる発注先選定が続いており、引き続き非常に厳しい状況であった。また、吉見町への事務所移転に伴い、事業の実施方法の変更を余儀なくされるなど、事業団を取り巻く環境は大きく変化している。
- このような状況の下、受診者のニーズに適った健(検)診・検査等を提供するため、継続的にニーズの把握に努めるとともに、移転を好機と捉え、周辺事業所の開拓を行った。
- さらには新規事業や健(検)診・検査項目等を検討するなど、職員一人ひとりが受診者の立場に立って積極的に事業を実施した。
特に、さいたま市周辺の既存顧客の健康診断を引き続き実施していくため、受診者の利便性などに配慮し、同市周辺の公共施設等を借用し健康診断を実施した。
- このように事務所移転により発生した諸問題に対しても、確実に対応を図りながら、収入の確保に努め、堅実かつ安定的な運営を目指し邁進してきたところである。
- ◎ 平成26年度における事業の概要は、次のとおりである。

I 公益目的事業の実施

1 健(検)診・検査等事業

(1) 地域保健分野における健(検)診・検査事業

地域保健分野では、住民の受診機会の拡大が図られるよう各市町村や地元医師会と連携を図りつつ、特定健康診査、結核検診、がん検診等の健(検)診・検査を実施した。

項 目		平成26年度実績	平成25年度実績	実績対比
特定健康診査	特定健康診査	9,342人	12,531人	74.6%
	データ処理	81,850人	77,874人	105.1%
生活機能評価	データ処理	0人	3,598人	0.0%
一般健康診断		1,015人	1,120人	90.6%
結核検診	間接撮影	685人	345人	198.6%
	直接撮影	643人	1,172人	54.9%
	ポータブル	0人	48人	0.0%
	リフト	106人	59人	179.7%
	読影	43,849人	42,401人	103.4%
肺がん検診	間接撮影	38,690人	39,942人	96.9%
	直接撮影	9,780人	8,298人	117.9%
	喀痰細胞診	4,178人	5,252人	79.6%
胃がん検診		41,360人	40,594人	101.9%
子宮頸がん検診	巡回検診	11,904人	10,603人	112.3%
乳がん検診	視触診	42,740人	42,604人	100.3%
	エックス線撮影	43,145人	42,331人	101.9%
	超音波	483人	515人	93.8%
大腸がん検診		20,410人	19,234人	106.1%
前立腺がん検査		5,203人	5,128人	101.5%
骨粗しょう症検診		2,207人	3,561人	62.0%
特定保健指導		12人	30人	40.0%
福祉施設健診	定期健康診断	4,087人	3,728人	109.6%
	間接撮影	640人	649人	98.6%
	直接撮影	47人	44人	106.8%
	ポータブル	3,211人	2,800人	114.7%
	リフト	189人	199人	95.0%

(2) 職域保健分野における健(検)診・検査事業

職域保健分野では、勤労者の健康の保持・増進を目的として、職場における健康診断並びにその事後指導としての保健指導や運動指導等を実施した。

項 目		平成26年度実績	平成25年度実績	実績対比
一般健康診断	定期健康診断	67,562人	71,105人	95.0%
	生活習慣病予防健診	2,028人	2,289人	88.6%
	協会けんぽ健診	2,905人	3,784人	76.8%
	B・C型肝炎検査	4,018人	5,722人	70.2%
	予防接種	837人	988人	84.7%
	COPD調査	92人	99人	92.9%
	HPV検査	1人	9人	11.1%
	メンタルヘルスチェック	2,394人	2,048人	116.9%
特殊健康診断		20,034人	19,323人	103.7%
結核検診	間接撮影	3,142人	3,791人	82.9%
	直接撮影	5,215人	5,584人	93.4%
肺がん検診	間接撮影	306人	311人	98.4%
	直接撮影	459人	181人	253.6%
	喀痰細胞診	1,069人	667人	160.3%
胃がん検診	検診	7,448人	8,198人	90.9%
	読影	13,314人	8,831人	150.8%
子宮がん検診	頸がん検診	423人	858人	49.3%
	体がん検診	9人	40人	22.5%
乳がん検診		662人	874人	75.7%
大腸がん検診		14,362人	15,657人	91.7%
前立腺がん検査		925人	1,410人	65.6%
細菌検査		18,678件	24,478件	76.3%
骨密度検査		41件	52件	78.8%
特定保健指導		252人	128人	196.9%

(3) 学校保健分野における健(検)診・検査事業

学校保健分野では、学校保健安全法に基づく尿検査、心臓検診に加え、小児生活習慣病予防健診、脊柱側弯検査などの各種健(検)診・検査を実施した。

項 目		平成26年度実績	平成25年度実績	実績対比
一般健康診断	定期健康診断	8,734人	9,034人	96.7%
	B・C型肝炎検査	741人	611人	121.3%
	小児感染症検査	1,165人	862人	135.2%
	予防接種	1,421人	1,445人	98.3%
特殊健康診断		829人	749人	110.7%
結核検診	間接撮影	49,375人	50,339人	98.1%
	直接撮影	1,110人	1,147人	96.8%
寄生虫卵検査		89,623件	90,633件	98.9%
尿検査		264,080件	267,550件	98.7%
小児生活習慣病予防健診		8,500人	8,675人	98.0%
貧血検査		12,783件	13,396件	95.4%
心機能検査		66,582件	66,975件	99.4%
脊柱側弯検査		31,289件	25,517件	122.6%
骨密度検査		187件	282件	66.3%

(4) 指導事業

主に事業所において、産業医による労働者の健康管理、医師・保健師等による健康・栄養指導及び健康運動指導士による運動指導を行った。

項目	平成26年度実績	平成25年度実績	実績対比
一般指導	128回	64回	200.0%
講演指導	18回	30回	60.0%
運動指導	58回	52回	111.5%

(5) 精度管理

ア 精度管理委員会の開催

事業団が実施する健康診断、各種検査、保健指導及び作業環境測定等の業務について、その精度を維持するとともに、職員等の技術的評価を実施することにより資質の向上を図ることなどを目的として、精度管理委員会を定期的に開催し、精度管理の向上並びに信頼性の確保に努めた。

イ 技術向上への取組み

健(検)診・検査業務等に携わる職員を各種技術研修会等へ積極的に参加させ、技術の研鑽に努めるとともに、事業を実施していく上で特に必要性の高い「胃がん検診専門技師認定」、「検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師」、「超音波検査士」、「細胞検査士」などの認定資格等の取得を奨励した。

ウ 第三者委員会がん検診部会の開催

外部の専門家を交えて構成された「埼玉県健康づくり事業団検診事業における第三者委員会」において、各がん検診部会を定期的に開催し、がん検診における精度の維持・向上を図った。

エ 外部精度管理事業への参加

日本医師会、埼玉県医師会、日本臨床衛生検査技師会、結核予防会、予防医学事業中央会、全国労働衛生団体連合会及び日本作業環境測定協会等の実施する精度管理事業に参加し、検査等の精度の向上を図った。

2 作業環境測定事業等

(1) 作業環境測定

安全で快適な職場環境の形成のため、有害物質を取扱う事業場の作業環境測定を実施するとともに、保育施設、学校、公共施設などにおける有害物質の測定・分析を実施した。

項目	平成26年度実績	平成25年度実績	実績対比	
作業環境測定	実施事業所数	143件	143件	100.0%
	単位作業場数	1,569件	1,497件	104.8%
	測定点数	11,309点	10,534点	107.4%
環境測定・分析	事業所数	68件	63件	107.9%
	検体数	453件	261件	173.6%

(2) 登録講習事業

事業場において有害物質等を取扱う作業の管理に従事する人材の養成のため、作業主任者技能講習を実施した。

項目	平成26年度実績	平成25年度実績	実績対比
鉛作業主任者技能講習	87人	16人	543.8%
特定化学物質等作業主任者技能講習	115人	141人	81.6%
有機溶剤作業主任者技能講習	227人	232人	97.8%
石綿作業主任者技能講習	52人	38人	136.8%

3 募金運動・会員募集等事業

(1) 複十字シール運動

結核、肺がんをはじめとする胸部疾患をなくすため、知識の啓発と予防意識の高揚を図ることなどを目的として、公益財団法人結核予防会が行っている「複十字シール運動」に埼玉県支部として協力し、埼玉県、保健所、市町村、医師会及び各種団体等の組織を通じ、広く募金の協力を呼び掛けた。

また、駅頭2か所（JR大宮駅西口及びJR川越駅東口）で結核、肺がん、COPDなどの呼吸器疾患に係る予防啓発活動並びに街頭募金活動を実施した。

複十字シール募金

項 目	平成26年度実績	平成25年度実績	実績対比
複十字シール募金	657,834 円	633,365 円	24,469円

(2) がん対策推進

がん対策を推進するため、市町村、医師会及び事業所等の賛同を得て、賛助会員の募集及び一般寄付を募った。

がん対策推進募金

項 目	平成26年度実績	平成25年度実績	実績対比
賛助会員	413,000 円	357,000 円	56,000円
一般寄付	135,000 円	125,000 円	10,000円

4 疾病予防、健康増進等に係る普及啓発事業

(1) 結核予防週間及びがん征圧月間

「結核予防週間」（9月24日～30日）及び「がん征圧月間」（9月）に合わせ、埼玉県、市町村、埼玉県医師会・地区医師会及び関係団体等の協力を得て、結核予防会や日本対がん協会等が作成したポスター、パンフレット、リーフレット等の周知資料を配布し、結核及びがんに対する知識の普及啓発を行った。

また、埼玉県庁本庁舎東側に結核予防及びがん予防のスローガンを掲げた懸垂幕の掲示を行い、広く県民等に検診の重要性を呼び掛けた。

(2) がん検診受診促進活動

広く県民等にごがん検診の受診を促進するため、街頭において啓発活動を行うとともに、郵便局の協力により啓発資材の配布を行った。

ア 街頭活動

駅頭2か所（JR浦和駅西口及びJR大宮駅西口）及び大型ショッピングモール（イオンレイクタウンmori）において、がん検診の受診勧奨のメッセージが入ったポケットティッシュを配布し、がん検診の受診促進を行った。

イ 啓発資材の設置

東松山郵便局管内15の特定郵便局の協力を得て、局内カウンターにごがん検診の受診勧奨メッセージ入りポケットティッシュ、リーフレット「乳がんのセルフチェック」、「がん検診」及び小冊子「もっと知りたい乳がん」、「がん相談のすすめ」を設置し、がん検診の受診促進及びがんの啓発を行った。

(3) 啓発用資機材の貸出し

事業団が所有する結核、がん等に関するDVD、啓発パネル等の視聴覚教材や乳がん模型等の貸出しを行い、疾病の予防及び早期発見・早期治療の重要性等をPRした。

(4) ピンクリボン活動への協力

平成26年12月7日（日）に熊谷市で開催された、くまがやピンクリボンの会主催による「第5回ピンクリボン・デー in くまがや記念大会」において、乳がん検診車を配車し展示を行うとともに乳がん検診を実施した。

また、がん検診の受診勧奨メッセージ入りポケットティッシュ及びリーフレット「乳がんのセルフチェック」を提供した。

(5) 乳がんをなくすほほえみ基金事業への協力

日本対がん協会が乳がん征圧のために設けた「乳がんをなくすほほえみ基金」事業に埼玉

県支部として協力し、乳がん検診無料クーポン券を配布し受診機会の拡大を図るとともに、検診を実施した。

(6) リレー・フォー・ライフへの協力

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014の埼玉県開催の後援を行うとともに、がんに関するリーフレット等の配布や啓発パネル、乳がん模型等の展示に協力し、がんの予防及び早期発見等の普及啓発に努めた。

[川越会場]

開催日 平成26年9月13日(土)～14日(日)
会場 川越水上公園 芝生広場
参加者 約3,000名

[さいたま会場]

開催日 平成26年9月14日(日)～15日(月)
会場 さいたま市農業者トレーニングセンター 緑の広場
参加者 約2,000名

(7) その他各種イベント主催団体への協力

医療機関等が実施するイベントの後援を行うとともに、開催の趣旨に適ったリーフレット等の提供を行った。

第8回市民公開がん医療講座(主催:埼玉医科大学国際医療センター)
第39回埼玉県民のための”がんの集い”(主催:埼玉県立がんセンター)
第5回埼玉県民がんサイエンスサロン(主催:埼玉県立がんセンター)
スミセイさわやか介護セミナー(主催:株式会社埼玉新聞社)

(8) 実習生の受入れ

看護師、保健師の免許の取得を目指す学生の教育に協力するため、実習施設として実習生を受入れ、事業団施設内や健診会場で研修を行った。

埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科	84名
人間総合科学大学 保健医療学部 看護学科	74名
早稲田医療技術専門学校 保健学科	40名
埼玉医科大学 保健医療学部 看護学科	89名

5 研修会・大会等

結核予防会、日本対がん協会、予防医学事業中央会が行う各種技術研修会、学術大会等に関係職員を積極的に参加させ、資質並びに技術水準の向上と活性化を図った。

また、各都県支部が行うブロック会議等に職員を参加させ、情報交換並びに意見交換等を行った。

6 エックス線機器等の整備とデジタル化への対応

(1) 胃部エックス線検診車の整備

最新のデジタルエックス線装置を搭載した胃部検診車を1台更新整備した。

車体 日野自動車製 TKG-GC7JKAG

胃部エックス線装置 東芝メディカルシステムズ製 SREX-D32C 一式

(2) エックス線装置のデジタル化

検診車に搭載しているエックス線装置のデジタル化を図った。

胸部エックス線装置(受像系) キヤノン製 CXDIセンサー他 3台

胃部エックス線装置(一式) 東芝メディカルシステムズ製 SREX-D32C 2台

乳房エックス線装置(一式) 東芝メディカルシステムズ製 MGU-1000D 2台

(3) マンモグラフィ画像診断支援システムの導入

平成26年度保健衛生施設等施設・設備整備費国庫補助金(マンモグラフィ検診精度向上事業)を受け、乳房エックス線画像から微小石灰化クラスター及び腫瘤陰影の疑いのある陰影を高精度に検出し読影医の診断を補助するためのマンモグラフィ画像診断支援システム(CAD=Computer Aided Detection)1台を導入した。

コニカミノルタ製 NEOVISTA CAD typeM

7 事務所移転

平成26年3月末までに吉見町への移転作業が完了し、4月1日から現在地において業務を開始した。

II 会議等の開催

1 理事会・評議員会

平成26年6月9日（月）

平成26年度第1回理事会（埼玉県県民健康センター 大会議室C）

- (1) 平成25年度事業報告（案）について
- (2) 平成25年度決算（案）について
- (3) 評議員会開催日等（案）について
- (4) 報告事項 役員（理事長・専務理事）の職務執行状況について
- (5) その他

平成26年6月24日（火）

平成26年度第1回評議員会（埼玉県県民健康センター 大会議室C）

- (1) 平成25年度事業報告について
- (2) 平成25年度決算について
- (3) 評議員の選任（案）について
- (4) 理事の選任（案）について
- (5) その他

平成26年10月3日（金）

平成26年度第2回理事会（みなし決議）

- (1) 評議員会の開催（案）について

平成26年10月10日（金）

平成26年度第2回評議員会（みなし決議）

- (1) 評議員の選任（案）について

平成27年3月10日（火）

平成26年度第3回理事会（埼玉県県民健康センター 大会議室C）

- (1) 平成27年度事業計画（案）について
- (2) 平成27年度収支予算（案）について
- (3) 事務局長の任免（案）について
- (4) 諸規程の一部改正（案）について
- (5) 報告事項 役員（理事長・専務理事）の職務執行状況について
- (6) その他

事業報告の附属明細書

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。